

**【港南区】令和4年第1回区づくり推進横浜市会議員会議
議事録**

開催日時	令和4年2月4日（金） 午前10時～午前11時05分
場 所	港南区役所6階 601・602・603会議室ほか
出席者	<p>【座長】 みわ智恵美議員</p> <p>【議員：4名】 瀬之間康浩議員、田野井一雄議員、安西英俊議員、梶尾明議員</p> <p>【港南区：34名】 栗原敏也区長、齋藤紀子副区長 飛田千絵福祉保健センター長、 水野圭一郎福祉保健センター担当部長、 井深清港南土木事務所長 ほか関係職員</p> <p>【デジタル統括本部：1名】 舘田企画調整課担当課長</p>
議 題	1 令和4年度個性ある区づくり推進費（案）について （山下総務課長説明）
発言の旨	<p>梶尾議員：現在ワクチン相談窓口について1日あたりどれぐらいの方が来ているのか。また、どんな相談が寄せられているのか。</p> <p>山下総務課長：発送した接種券が届き始めたこともあり、昨日は90人程度の方が来た。相談内容は、接種券がいつ届くのか、接種証明書の取得方法、3回目接種はいつからできるのかなど、一般的な質問が多い。また、代行予約については、1日で4、5件程度行ったが大きな混乱はなかった。</p> <p>梶尾議員：予約はスムーズにできているのか。</p> <p>山下総務課長：今のところ問題ない。また、今回の予約は区のワクチン相談窓口以外にドコモやau、ソフトバンクなどの携帯ショップのほか、郵便局でも予約代行の対応をするなど体制が充実している。</p> <p>梶尾議員：デジタル化推進のモデル区の実践にあたり、今後、成功事例を他区に横展開していく中で、取組に対する思いや区長の意気込みを聞かせて欲しい。</p> <p>栗原区長：前回の市議員会議で、ワクチンの状況をリアルタイムで知らせる方法は無いのかと意見をいただいております、デジタル化は急務</p>

と考えている。モデル区の選定については、区庁舎において一番新しい港南区と 50 年位経っている西区という点で特徴がある。モデル区で展開した事を横展開するということで、区長としては港南区民の皆さんにいち早く成功事例の体験をしていただきたく、選ばれたことは良かったと考えている一方で責任も感じている。ご意見をいただきながらしっかり進めて行きたい。

梶尾議員：地域防災拠点の機能強化の取組として、避難所運営ゲーム（HUG）を地域防災拠点に配付とあるが、どれぐらいの数を配付するのか、また活用方法を教えて欲しい。

山下総務課長：避難所運営ゲームは、31 か所ある全ての地域防災拠点に各 1 セット（4 組）配付する。各避難者が抱えている事情が書かれた 1 組 250 枚のカードを、避難所に見立てた平面図に適切に配置し、避難所で起きる様々な課題や問題に対しゲーム形式で考えていただくもので、防災拠点訓練の際に活用いただくことをイメージしている。

梶尾議員：YouTube などを活用して区民の皆さんの関心が高まるようにして欲しい。

安西議員：「港南区総合庁舎前」バス停周辺の環境改善を強く要望していたが、本日、バス乗り場の増設が報告され、いよいよ改善に向けて動き出すことを、大変うれしく思う。バス停の改善には、歩道の地下にある「既存埋設管」の存在も課題と聞いていたが、そこで、どのようにしてバス停の改善を進めるのか事業スキームを聞かせて欲しい。

高岡区政推進課長：事業に要する予算は、港南区が「資産活用メリットシステム」を活用することで確保した。そして、埋設管を所有する東京電力には、港南区から埋設管の移設を依頼し、並行して建築局にバス停上屋の設計を依頼する。東京電力による埋設管の移設が終わった後、港南区から建築局にバス停上屋の建設を依頼する。バス停上屋が完成した後の日常の維持・管理は、交通局が担うという事業スキームを予定している。

安西議員：バス乗り場が 2 つできることになるが、現在の 630 本のバスをどのような考えで 2 つのバス乗り場に振り分ける計画なのか。

高岡区政推進課長：今後、バス業者と調整するが、630 本のバスを、バス

停のすぐ先にある「桜道入口」と「港南橋」交差点を左折・右折するバスと、この交差点を直進するバスの2通りで振り分けようと考えている。まず、交差点を左折・右折するバスの本数は約120本と全体の20%を占めており、これらのバスは、引き続き、現在のバス乗り場を使用する。そして、交差点を直進するバスの本数は約510本で全体の80%を占めており、これらのバスは、広い公開空地に面した新しく増設するバス乗り場を使用する。このように分けることによって、地下鉄の階段があるために、歩道が狭くなっている現在のバス乗り場を使うバスが20%に減るので、混雑は解消されると考えている。

安西議員：公会堂の鎌倉街道に面した場所には広い公開空地が設けられ、港南区総合庁舎、土木事務所、公会堂、警察署が立地する「港南中央駅」前にふさわしい景観が形成されている。この港南区の顔ともいえる場所にあるバス停の環境が改善されることは、区民にとっても、大変喜ばしいことだと思う。そこで、区の重要課題の1つが解決することについて、区長の所感を伺いたい。

栗原区長：旧庁舎では消防署の出入口だった。公会堂が整備され公開空地となったことで、その後に区民の皆さんの利便性を考えるのは区役所であるが、先生方から後押しいただいたことで関係局と調整ができ、「チーム港南」から「チーム横浜」として調整ができたことは区長として嬉しく思う。予算審議はこれからだが区民の皆さんにもう少しだけお待ちいただきたい。

安西議員：いいものとするために、今後標柱やベンチ等詳細を詰める際に歩道のバス待ちの導線が混乱しないよう、歩道面への路面表示を適切な場所に設置することを要望する。

次に港南公会堂駐輪場の整備状況について伺いたい。

高岡区政推進課長：公会堂の駐輪場は完成し、2月1日から供用を開始している。台数は自転車60台、バイク5台となっている。

安西議員：公会堂再整備の検討の説明を受けた時に、駐輪場の設計が無く、なぜ駐輪場が無く公共施設が建てられるのか調べた。すると政令指定都市の中で横浜市だけが駐輪場の附置義務条例が制定されておらず、努力義務であるため、駐輪場を設置しないで良いという状況だった。敷地内の建物に関しては法律に基づいて様々作

られるが、そこにつながる導線等、実際の使い勝手については、完成後にわかるものもあり、当初設計に盛り込まれないこともある。行政は区民からの陳情をより早く知りうる立場にあるので今後も前もって市民の声を察知して対応して欲しい。

瀬之間議員：ワクチン接種について前回大規模接種会場のハンマーヘッドで打たれた方は、3回目の接種場所は港南区内の医療機関で予約するのかな。

山下総務課長：どの会場でも接種できる。ファイザーとモデルナの混合接種も可能なので、ご自身が利便性の高いところで接種いただくことになる。

瀬之間議員：ファイザーを希望される方の割合が多く、モデルナに対する抵抗がある方がいるが、区役所からどのように説明しているのか。

山下総務課長：区役所からワクチンの種類に関する説明は特段していない。どちらでも選ぶことができる。ファイザーを打たれた方はファイザーを好む傾向がある。その場合、かかりつけ医だとほとんどがファイザーなのでそちらを予約していただくことになる。

瀬之間議員：増設する港南区総合庁舎前バス停について、バスを待つ間に座れるベンチの設置など高齢の方への配慮をして欲しい。

田野井議員：青少年指導員、スポーツ推進委員と違い、子ども会を支える局がない。港南区個性ある区づくり推進会議で子ども達を守っていると考えている。子ども達の体格は良くなっているが体力は落ちている。桜岡小学校ではアフリカのコートジボアールの大使が来校して交流を行った。このように校長先生のリーダーシップにより様々な活動を行って欲しい。

子どもはリモートにも順応するが、高齢者には馴染みにくい。高齢者が多い自治会町内会の役員の皆さんに、区のデジタルの取組についてご理解いただくためどのように説明していくのか。

松田地域振興課長：自治会町内会では今、コロナ禍での連絡手段等でデジタルというものが使えるか興味は示していただいている。我々は、ICT 事業でコンサルティングを進めている。皆さん関心はあるがどのように使っていくのか苦労されている。また、それを理解いただいた後も、お持ちのデジタル機器をどう活用していいの

	<p>かわからないため丁寧にコンサルティングしていく。一方で抵抗を示している方もいるため、一律に押し付けるのではなく、寄り添いながら進めていく。</p> <p>田野井議員：デジタルに関しては、高齢者には追いついていけない部分がある。小中学生はデジタル機器を使いこなしており、今は泣いている子どもにおしゃぶりなどおもちゃでなくスマホを渡す時代である。幼児の頃から慣れ親しんでいる世代との格差は埋まらない。町内会もステイホームで休会が続く中それぞれ悩みを抱えている。世間では、連日虐待など様々な報道がある。デジタルの活用に関しては専門家でも意見が違う状況だが努力いただきたい。</p> <p>みわ議員：消費生活に関する相談だが、市内の143か所の地域ケアプラザに専用回線があり、高齢者から相談が来てから消費生活相談につなげるだけでなく、ステイホームが広がる中でどうしようもなくなった高齢者を発見した時にも全区で対応していく取組を行っているということだがどうか。</p> <p>佐藤福祉保健課長：上大岡の消費生活総合センターと区内のケアプラザに専用回線を引き、そこからセンターの消費生活相談員とケアプラザに来た相談者を結ぶことができる仕組みとなっている。ケアプラザの職員は福祉保健の専門家であって消費生活の相談を受けることはできないが、つなぎ役として身近な相談を受ける立場として関わらせていただくことになっている。</p> <p>みわ議員：相談し辛かったり、相談できるのかどうかもわからなかったりする中で、家庭の中に入っているケアマネージャー等に活用してもらえるよう広めていってもらいたい。</p> <p>田野井議員：新型コロナウイルスワクチン3回目接種場所一覧「港南区・南区版」が非常にわかりやすい。集団接種会場の情報や個別接種ではどこの病院がファイザーとモデルナをやっているか等、自治会町内会をまとめている世代の知りたい情報が、的確に掲載されているのでうまく活用して欲しい。</p>
備 考	